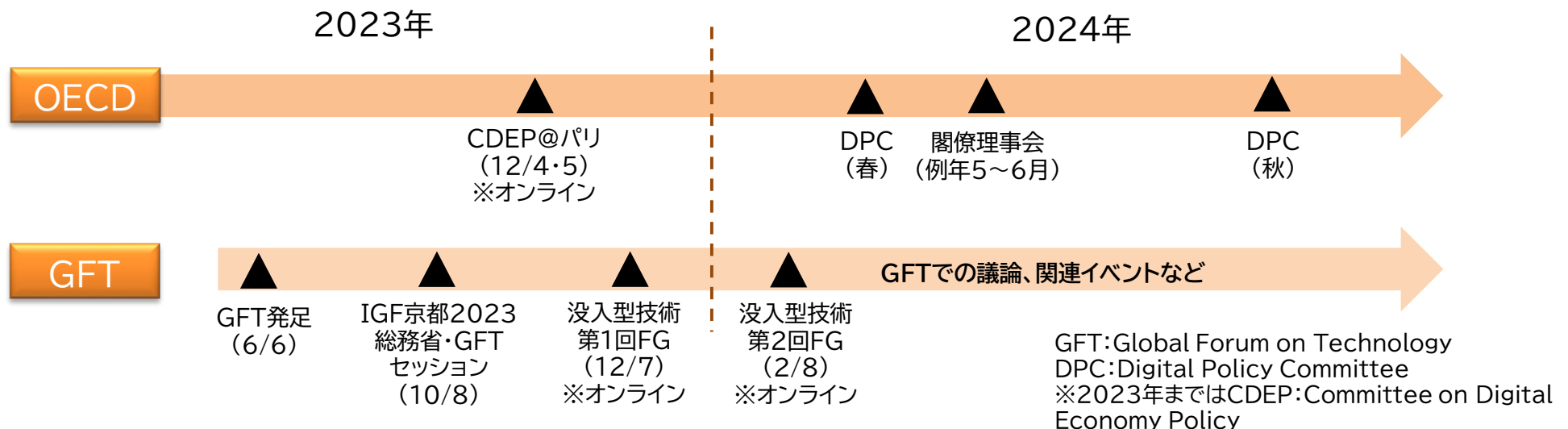


メタバースに関する国際的な共通認識の形成に向けた 総務省の取組

2024年2月15日
情報流通行政局参事官

国際的な共通認識の形成 – OECD

- ◆2023年6月、OECDはGlobal Forum on Technology(GFT)の第1回会合を開催。没入型技術を含む3つの分野について、それぞれ専門家によるフォーカスグループ(FG)を設置し、議論を進めることとなった。
- ◆没入型技術のFGは、日本から小塚学習院大学法学部教授(当研究会座長)が参加、第1回を同年12月に開催。第2回は2024年2月に開催。
- ◆2023年10月、インターネット・ガバナンス・フォーラム(IGF)京都2023において、総務省とOECD/GFTがメタバースに関するセッションを共催。
※小塚教授、山下京都副知事、OECD課長、欧州委員会局長、MSF議長、メタ社マネージャー等が登壇
- ◆今後は、没入型技術のFG、関係イベント、デジタル政策委員会(DPC)などの機会を活用し、国際的な共通認識の形成について議論を提案していく予定。



国際機関での議論 – ITU-T (FG-MV)

- ◆ 2022年12月のITU電気通信標準化諮問会議(TSAG)において、TSAGを親会議体としたFocus Group on metaverse (FG-MV)の設置を承認

議長: Shin-Gak Kang氏 (ETRI, 韓国)、副議長: 今中秀郎氏(NICT, 日本)ほか

- ◆ FG-MVの下に9つのWGを設置。WG3(アーキテクチャとインフラ)の議長は山本秀樹氏(沖電気工業, 日本)。WG5(相互接続)の議長はFG-MV副議長の今中氏が兼任
- ◆ FG-MVでは、マルチメディアやネットワークの最適化からデジタル通貨、IoT、デジタルツイン、環境持続可能性に至るまで、「metaverse」の技術要件を分析し、基本的な実現技術を特定する予定。非ITU会員も取り込みつつ、技術的な標準化の前段作業への貢献を目指す。

- ◆ これまでに4回FG-MVが開催され、標準化等に関する検討について議論
(成果物には本研究会の成果も反映)

- ◆ 1/22~1/26にTSAGが開催され、FG-MVにおける成果物をどのSGに割り当てるかを議論
- ◆ 第5回 FG-MVは、3/5~3/8にメキシコで開催予定